

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和8年5月20日 第200号

流鏑馬を見てきました

野木町の乗馬クラブクレインで流鏑馬のイベントがあったので見に行ってきました。栃木県では日光東照宮の流鏑馬が有名ですが、とんでもない混雑ぶりですので、なかなか行く気になりませんでした。こちらには階段状の立派な観客席がありますし、観客は100人に満たないので、ゆったりと見ることができました。

本場の流鏑馬では矢を3本放ちますので、200m以上の馬場が必要だそうですが、こちらでは、そんなに距離はとれませんので的は1つだけです。それでも、それっぽい衣装を着て、矢も3本差したところから1本を抜いて矢をつがえるなど、なかなか本格的です。3回挑戦して、初回は成功、2回目は矢をつがえるのが間に合わずそのまま通過、3回目も成功でした。スピードも結構出ていましたので、お見事でした。



見事に的を射抜いていました。

高橋指導員曰く、今回騎乗しているジャズロック号は、落ち着いていて流鏑馬向きの馬だそうです。馬によっては、弓を持っただけで驚いて暴走することもあるそうで、馬も個性豊かなのですね。

改めて調べたところ、日光東照宮では春秋の2回、神事として流鏑馬が行われているようです。ぜひとも人ごみに負けずに見に行ってみたいと思いました。



高橋指導員とジャズロック号です。



見えにくいけれど鈴なりです。

スナップエンドウが絶好調です。綺麗な形のもの、バンバン採れています。例年ですと今頃は病気が発生しただすのですが、それも無いので、もう少しの間収穫できそうです。

対して、ジャガイモは調子が悪いです。しっかりと準備した種芋は、何か腐ってしまった種芋は、何故か腐ってしまいい滅しました。芽がいつぱい出たジャガイモが家にありましたので、急遽追加で植えました。何とか葉が茂り始めましたが、梅雨入りまでの収穫に間に合うかどうか。

我が家の畑

新入社員の働きやすい職場環境づくりのす すめ

新入社員の業務開始から1カ月ほどが経つこの時期は、職場や仕事への理解が進む一方、不安や戸惑いが見えやすくなる時期でもあります。新規学卒者の就職後3年以内離職状況をみると、令和4年3月卒は大卒33.8%、高卒37.9%と、平成30年3月卒の大卒31.2%、高卒36.9%より増加傾向にあり、若手人材の定着は多くの企業に共通する課題です。

◆小さな不安を見逃さないことが重要

「質問しづらい」「周囲に迷惑をかけたくない」と感じ、業務内容、人間関係、仕事の進め方などの悩みを抱え込んでしまうケースもありますが、小さな違和感をそのままにすると、意欲低下や早期離職に繋がるおそれがあります。

若年労働者の職場定着に関する調査ではありませんが、厚生労働省の調査報告書では『働きがい』『働きやすさ』は、従業員の意欲、定着及び会社の業績向上を高めしる傾向があることがうかがわれる」とされています。

◆相談できる体制づくりを

また、同報告書では『働きがい』は…(中略)…『自己効力感』が充足されるような雇用管理がなされた場合に高まる傾向があり、『働きやすさ』は『自己効力感』に加え、『相談できる体制』や『福利厚生』に関する雇用管理がなされた場合に高まる傾向がみられる」とされています。

「困っていることはないか」「相談しやすい相手はいるか」等、短時間でも継続して対話の機会を設け丁寧に確認することが、安心して働ける職場づくりに繋がります。今一度、自社の受入れ体制を見直してみてもはいかがでしょうか。

